にそのとおりではあるが、

方、大学病院は国費で建

効

するのが本来の姿とお考え く理想的な診断治療を追求 のだから、経済とは関係な 育を目的として診療を行う

17

からである。

つまり、入院加療を希望

方も多いであろう。確か

は直観的に、そんな筈 とである。多くの方々 のは七・八床というこ 者さんが入院している

ない。

%) 100—

90-

80-

70-

脳外

放射線・

小児●

皮膚●

幽口外

眼科

小児外科

年度 56 のうち年間を通して患 七八%というと、 は八二・五%である)。

●は各年度の病院全体としての 病床稼働率 ()書は病床数

脳外(24)

力の余地があるという

五%だったので、

努

働率は七八・二%であ

昨年の本院の病床稼

た。全国平均は八一

放射線(8)

耳鼻(23) 三内(48)

内(48)

小児(40)

麻酔(12)

、 小児外科(33)

58

ともまた当然である。 果的な運用が求められるこ 設運営されている以上、

検査院から指摘された ことを文部省及び会計

(なお、本年度の目標

診療科別病床稼働率表

(56~58年度)

## 病 床 稼 働

病院長 吉

が入院を希望しても予約し て待っていただくことが多 床もいっぱいで、 圌 患者さん

大学病院は卒前卒後の教

これは病床が有効に利用さ する患者さんはおられるの できないということである。 に入院させてあげることが のうち二・二床は空床なの に、そして一方、病床も十床 61 の皆さんの御協力を願いた 行きたいものである。 点を検討して取り除くこと ができるものは取り除いて 各診療科をはじめ、 職員

ものです。

題字は吉岡病院長

[編 集]

旭川医科大学医学部附属 病院広報誌編集委員会

委員長 並木教授(三内)

VTRシステム

師会健康教育センター発刊

し出ていただければ幸いです。

待 合

ビ

1

病院長のプロ

ば二、三日かかるかもしれ 差し上げても地方の方なら れていないということである。 ても女性の患者さんは入っ ないし、男性の病室が空い ち患者さんに空室の連絡を る。いずれにしても、 ていただけない、等々であ 理由はいろいろある。 問題 待 医療事務関係職員の資質の ープライブラリー」を設け 副次的に一医療に関するテ も計ることにあります。 待時間中のイライラ解消を 健康増進に寄与し、 映することにより、 おいて標題のテープ等を放 れたもので、 より購入されました。 ビスの一環として設置さ 式が、各方面のご協力に このシステムは、患者サ

待合ロビーに

が、将来的には院内製作に 五本に再編集したものです グラムにより、 全三二一巻を、

二時間もの

放映開始は、去る六月二

0

「現行の具体的運用

併せて 患者の

等も検討しております。

システムは、医事課にお

の診療内容」「本院の特徴 よる「本院の案内」「本院

ております。

間帯に次のテープを放映し十時から一四時頃までの時 五日(月)からで、平日

間帯に次のテープを放映

又

日常の運用及び利用につい

ご希望、ご意見又は目

ために」

「たばこの害」

「肥満と病気」

ほ 課

か

医

的に有意と認められるテープ

いて管理しておりますので

動のしくみ」

「胃の健康診

「地域ぐるみの健康の

「人体の構造と働き」

運

竪形(48) 皮膚(23) 泌尿(24) 二内(48) 教育シリーズ」 在 『身体のしくみ及び健康 二外(48) 精神(43) 一外(42)

放映内容については、 現

向上にも活用しようとする をお持ちの方は、 積極的に申

助教授中華與工學咽喉科学講座(昇)任)

(6月1日付) 白戸 勝

放射線医学講座助手 中精神医学講座助手 中

X 眼科(24)

麻酔学講座助手 6月1日付 川田佳克

(医長交代)

56.1)

57

个 中 條 拓

脳神経外科助手 泌尿器科助手 内科助手 (7月1日付

第一内科 外来医長 第病 一内根 旧科長 旧 庶 務 課 佐々木信博助毛 清水哲雄助手) 々木信博助 修助手

(5月31日付) 季 藤田 力 (7月1日付 相澤 希

麻酔学講座助手 脳神経外科助手

外科学第二講座助教授

(6月15日付)

精神医学講座助手

の関係で、

前日受付・検査

シューターの運転時間等

当検査室の一日の仕事始

検査終了時間、

エア

三五〇人、数千件の検査報 から始まります。多い日で された報告書の区分・配送

師には、実感としてとらえ

よう努力して行きたいと思 層充実した検査内容にする

(表2)

1年 未満 16

ó

## 新薬紹介 一酸ブプレ (レペタン) (3) ノルフィン

用持続時間は6~8時間で れている。筋肉内投与では 離速度が遅いためと考えら オピオイド受容体からの解 効果持続時間が長い理由は 得られている。 用は血中濃度より、むしろ すといわれており、 ることにより鎮痛作用を示 脳内濃度と相関した結果が 合し、痛覚伝導路を遮断す 経のオピオイド受容体に結 また、鎮痛 鎮痛作

本剤の作用機序は中枢神

らわれた場合、呼吸促進剤 呼吸抑制作用は動物におい 慎重に投与すべきである。 あるので観察を十分行い、 り薬物依存を生じることが れているが、大量連用によ 成作用はきわめて弱いとさ のドキサプラムが有効であ おり、臨床上その作用があ ンに比べ弱いと報告されて てモルヒネ及びペンタゾシ 報告されている。依存性形 用持続時間は有意に長いと 倍から数百倍強く、 れた本剤の鎮痛作用はモル いようである。動物で示さ なお、レバロルファン ペンタゾシンより長 その作

などの麻薬拮抗薬は無効で るため、保管管理には十分 注意する必要がある。

ルフィンとして2 本剤は1配中にブプレ

を目的とする場合は通常成 人で.2~3. mgを筋肉内に注 人で.2~3. mgを筋肉内に注 を目的とする を麻酔導入時に徐々に静脈場合は通常成人で.2~.4 mg おり、医療外使用を防止す 指示医薬品の指定をうけて 性医薬品・指定医薬品・要 ること。本剤は劇薬・習慣 て他剤との混合注射は避け 減を行う。本剤は原則とし 併用薬などに応じて適宜増 内に注射する。なお症状、 ge 含有

みである。退職理由のトッ

(DI室長 竹本 功

検査部より 学 検 (3) 查

ります。 ではないかと思うことがあ 多い検査室で、時には工場 の中では一番自動化機器の で検査されており、検査部 定量を行っている検査室で 尿等の化学成分の 四名のスタッフ

思われます。大学病院の持 含めると膨大なデータ量と ざるをえない特殊検査等を ている項目、さらに、人員 そして、その検査内 当検査室で実施され

ているか、また患者に必要 み検査も処理しています。 の中で、至急検査等の飛込 すが、日々、この様な状況 どれほどフィードバックし 査データが患者の治療に、 常に思うことは、毎日の検 つ特殊性であると思われま 膨大な検査データを前に、 ネリズムを防ぎ、しかも当 の担い手を自負できるもの 検査室も医療スタッフの一 くれることが、私達のマン 投げ返して(問い合わせ) 査データ)には、ボールを はずれたボール ータ)をがっちり捕球して 投げられたボール することもあります。 ない検査オーダーにも遭遇 す。また時には合点のいか 抹の寂しさを感じる思いで つのセクションとして診療 各診療科の諸先生方も、 (不審な検

あり、 表2)、3年未満者が45%で 開院9年目の現在、当院に に比べ高率である。 おける在職年数をみると

の退職者を出しているが

等のため実働人数の減は澼

けられない。毎年17%前後

ろうし、又出産、

育児休業

在この問題は当分続くであ 未婚女性が76%をしめる現 プは結婚のためで (表1)、

うという時に、もう退職の 力もいよいよ充実してこよ 32) も3カ月を経て、 話題……これが看護部の悩 場にも慣れ、チームの看護 4月に仲間入りした47名 新卒者 各職

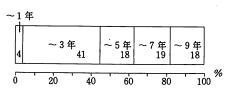
時の在籍者が46名おり、 4年8カ月である。 職員の当院平均在職年数は の4月採用者を除くと看護

(表3)

20

1 年以上 3 年未満 29

40



昭和58年度退職者の当院在職年数別割合

旭川医大における在職年数別割合(59.6.1現在)

3年以上 5年未満 17

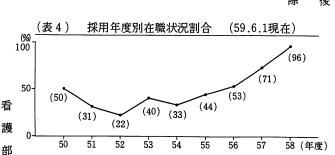
60

5年以上

7年以上

80

100



の課題といえよう。 充実発展させていくために 下を最小限にとどめ、更に に残念である。看護力の低 退職していくことは、 婚・出産・育児等のために 要として働く中堅者が、 年5カ月であり、チームの 退職者の平均在職年数は4 下でやめているが、58年度 の当院在職年数をみると (表3)、45%の人が3年以 (調査対象は看護助手を除 非常

結

(表1)

昭和56~58年度退職者の退職理由別割合

